

# 平成 27 年度 市民意識調査 結果報告

市民の皆様の意見や要望を市政の参考とするため、市民意識調査を実施しました。主な項目の結果を報告します。

## ○ 調査方法

平成 27 年 5 月に実施した市民意識調査は、市民から単純無作為抽出された 20 歳以上の男女 2,000 人を対象とし、郵送にて調査しました。

有効回収数は 1,175 件、回収率は 58.8%で 26 年度より 1.5%増加しました。

## ○ アンケートのテーマ

- ・「居住環境」について(継続調査)
- ・「市の取り組みの満足度」について(継続調査)
- ・「総合計画の指標に関する項目」について(継続調査)
- ・「幸福度と健康づくり」について(継続調査)
- ・「三島市広報番組の視聴状況」について(継続調査)
- ・「災害対策」について(継続調査)
- ・「自治会・町内会」について(新規調査)
- ・「新エネルギー・省エネルギー設備」について(新規調査)
- ・「男女共同参画」について(新規調査)
- ・「消費者教育」について(新規調査)

## ○ 平成 27 年度市民意識調査結果の特徴

### 特徴 1 毎年の変動が少なく、多くの市民が満足しているもの

(1) 「居住環境の満足率」88.2% (26 年度 87.2%) や、「三島市への愛着率」82.8% (26 年度 83.2%) は、毎年高率となっています。

(2) 生活環境の満足度では、

満足率が高いのは、「水のきれいさ」74.3%(26 年度 75.8%)、「空気のさわやかさ」70.8%(26 年度 70.6%)、「身近な緑や自然の量」61.9%(26 年度 59.6%)の順でした。

また、「景観(自然風景・まち並み)の美しさ」は今年度が 55.2%と 26 年度(53.2%)よりも上昇しています。(満足率＝「満足」＋「やや満足」)

### 特徴 2 将来の三島市像については、健康・福祉、環境、歴史・文化などに、引き続き期待が集まっています。

(1) 三島市が将来どのような町になったらよいか(一つ選択)の問いでは、

「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」「歴史や文化を大切にされた風格のある都市」が上位 3 件でした。

### 三島市がどのような町になったらよいか（1つ選択）

	27年度	26年度	25年度
保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	33.9%	36.1%	33.8%
自然や環境に優しいやすらぎのある都市	17.2%	15.6%	19.7%
歴史や文化を大切にしたいスタイルのある都市	12.8%	11.2%	10.6%
活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	9.0%	6.7%	6.8%

#### （2）将来の都市規模

「現状のまま、人口11万人程度」に次ぎ、「伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度」が多く、3番に「県東部の中核都市、人口30～40万人程度」が続きました。

「人口20万人程度」と、「人口70万人程度」は低率となっています。

#### 将来の都市規模（1つ選択）

	27年度	26年度	25年度
現状のまま、人口11万人程度	35.1%	37.4%	35.6%
伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度	34.5%	32.9%	34.4%
県東部の中核都市、人口30～40万人程度	14.6%	15.2%	14.9%
沼津市と同じくらいの人口規模の都市、人口20万人程度	8.6%	8.3%	7.2%
静岡市や浜松市のような県東部の中心都市、人口70万人程度	4.5%	3.5%	5.3%

### 特徴3 「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」の満足度が高く、歩道・生活道路の整備やバスなどの公共交通の充実などに不満度が高くなっています。

#### （1）満足度上位5項目

市の施策に対する、市民の満足度（充実度）は、「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」が高くなっています。「ガーデンシティみしま」、「スマートウエルネスみしま」などの取り組みの成果が表れていると推測されます。

#### 項目別満足率（＝「満足」＋「やや満足」）

順位	項目	27年度 (前年比)	26年度 (順位)	25年度 (順位)
1	せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	60.9%(-8.4%)	69.3% (1位)	64.6% (1位)
2	「広報みしま」による市政情報の提供	53.3%(-5.3%)	58.6% (2位)	55.6% (2位)
3	公園・水辺空間の整備	44.2%(-5.4%)	49.6% (3位)	47.0% (5位)
4	ごみ・リサイクル対策	44.0%(-3.3%)	47.3% (5位)	47.3% (4位)
5	美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成	43.7%(-4.3%)	48.0% (4位)	47.7% (3位)

## (2) 不満度上位5項目

不満度(不足度)は、「歩道・生活道路の整備」や「バスなどの公共交通の充実」などで高くなっています。

### 項目別不満率(=「不満」+「やや不満」)

順位	項目	27年度 (前年比)	26年度 (順位)	25年度 (順位)
1	歩道の整備	42.2%(+0.3%)	41.9%(1位)	44.7%(1位)
2	生活道路の整備	40.0%(+2.6%)	37.4%(2位)	40.2%(2位)
3	バスなどの公共交通の充実	33.5%(-2.2%)	35.7%(3位)	34.1%(5位)
4	三島駅周辺(北口・南口)の整備	32.9%(-0.1%)	33.0%(5位)	36.7%(4位)
5	にぎわいある商業・商店街づくり	30.4%(-3.8%)	34.2%(4位)	39.8%(3位)

## 特徴4 市民の幸福度は国の平均より高くなっています

### (1) 幸福感について

『現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。』の問いに対し、市民の平均点6.79は昨年度より上昇しており、国の平均6.38より0.41点高く、自分が幸福と感じている人が多いようです。

### 幸福度平均点、三島市と国の比較

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
三島市	6.79	6.72	6.76
国*	—	—	6.38

\*厚生労働省が平成26年2月に実施した「健康意識に関する調査」より(対象20歳以上・5,000人)

### (2) 幸福感を判断する際の重視事項

重視事項は、①健康状況、②家族関係、③家計の状況、④精神的なゆとり、⑤自由な時間の順でした。

国の調査では①健康状況、②家計の状況、③家族関係、④精神的なゆとり、⑤自由な時間の順でした。

### 幸福感を判断する際の重視事項(複数回答可)

	27年度	(前年度)
1 健康状況	61.0%	(60.7%)
2 家族関係	54.0%	(58.6%)
3 家計の状況	50.1%	(50.7%)
4 精神的なゆとり	37.1%	(44.2%)
5 自由な時間	34.6%	(29.7%)